

JavaScript

加算子・減算子

6 時間目

加算子(かさんし/インクリメント)

解説 加算子を使用することで、変数1を自動的に足すことができます。

1 前置加算子（ぜんちかさんし） / `++a`

→ 変数の値に 1 を加えたモノを表示。

2 後置加算子（こうちかさんし） / `a++`

→ 変数の元の値を表示。その後その元の値に1を加える。

わかりにくいので、実例を見てみましょう。

前置加算子（ぜんちかさんし）

1 ++a・・・変数に 1 を加えたモノ表示

script.js(JavaScriptファイル)

```
var a=10;  
document.write( ++a );
```

11

変数aに代入された「10」に
1を加えたモノ（つまり11）を表示

後置加算子（こうちかさんし）

2 `a++`・・・変数を表示。その後に変数に1を加える

script.js(JavaScriptファイル)

```
var a=10;
```

```
document.write( a++ );
```

10

初めに、変数aに代入された「10」を表示。
その後に変数a (=10)に1を加え「11」になる。
但し、その下にdocument.write()がない為に
何も表示されない。

後置加算子（こうちかさんし）

2 a++ . . . 変数を表示。その後に変数に1 を加える

script.js(JavaScriptファイル)

```
var a=10;
```

```
document.write( a++ );
```

```
document.write( a );
```

1011

初めに、変数aに代入された「10」を表示。
その後に変数a (=10)に1を加え「11」になる。
さらに、その下のdocument.write表示で、
11を表示。

後置加算子（こうちかさんし）

2 a++ . . . 変数を表示。その後に変数に1 を加える

script.js(JavaScriptファイル)

```
var a=10;  
  
document.write( a++ );  
document.write( "<br>" );  
document.write( a++ );  
document.write( "<br>" );  
document.write( a++ );
```

10
11
12

続けて、a++と記述すると、
このように1つずつ数が増加させて表示できる

減算子(デクリメント)

解説

減算子を使用することで、変数に1を自動的に引くことが出来ます。

1 前置減算子（ぜんちげんさんし） / `--a`

→ 変数の値から 1 を引いたモノ表示

2 後置減算子（こうちげんさんし） / `a--`

→ 変数の元の値を表示。その後にその元の値から1 を引く

わかりにくいので、実例を見てみましょう。

前置減算子（ぜんちげんさんし）

1 --a . . . 変数から 1 を引いたモノ表示

script.js(JavaScriptファイル)

```
var a=10;
```

```
document.write( --a );
```

9

変数aに代入された「10」から
1を引いたモノ（つまり9）を表示

後置減算子（こうちげんさんし）

2 a-- . . . 変数を表示。その後に変数から1 を引く

script.js(JavaScriptファイル)

```
var a=10;
```

```
document.write( a-- );
```

10

初めに、変数aに代入された「10」を表示。
その後に変数a (=10)から1を引き「9」になる。
但し、その下にdocument.write表示がない為に何も表示されない。

後置減算子（こうちげんさんし）

2 a-- . . . 変数を表示。その後に変数から1 を引く

script.js(JavaScriptファイル)

```
var a=10;  
  
document.write( a-- );  
document.write( a );
```

109

初めに、変数aに代入された「10」を表示。
その後に変数a (=10)から1を引き「9」になる。
さらに、その下のdocument.write表示で、
9を表示。

後置減算子（こうちげんさんし）

2 a-- . . . 変数を表示。その後に変数から1 を引く

script.js(JavaScriptファイル)

```
var a=10;  
  
document.write( a-- );  
document.write( "<br>" );  
document.write( a-- );  
document.write( "<br>" );  
document.write( a-- );
```

10
9
8

続けて、a--と記述すると、
このように1つずつ数を減少させて表示できる。